

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	7801	(H.22)No.	
-----------	------	-----------	--

事務事業名	議会費(伊賀南部環境衛生組合)		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
伊賀南部衛生組合事務局	総務室	井面 清司	0595-53-1120
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	5	新しい時代を拓く自立と協働による地域経営
	基本政策	1	協働のまちづくり
	施策	1	地域自治
	小施策	1	地域自治の推進
	重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	900201
伊賀南部環境衛生組合一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	議会費	議会費
項	議会費	(小事業名)
目	議会費	議会費

## 3. 事務事業の概要

事業概要	めざす効果(事業目的)
衛生組合議会運営	円滑な議会運営ができる

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費] 以下の議会開催 2月定例議会 7月臨時議会 10月定例議会 12月臨時議会 費用弁償18千円 議事録作成業務委託53千円	[事業内容(事業量)・事業費] 以下の議会開催予定 2月定例議会 5月臨時議会 10月定例議会 12月臨時議会 議事録作成業務委託 114千円	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
			補助金・交付金	その他 ( )	
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
			議会の開催 議事録作成業務	議会の開催 議事録作成業務	議会の開催 議事録作成業務
直接事業費	71千円	114千円	114千円	114千円	114千円
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他( )					
一般財源	(0) 71	114	114	114	114
人工数					
職員	0.55人	0.55人	0.55人	0.55人	0.55人
臨時職員等	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
概算人件費	(0千円) 4,015千円	4,015千円	4,015千円	4,015千円	4,015千円
+ 総事業費	(0千円) 4,086千円	4,129千円	4,129千円	4,129千円	4,129千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

## 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

## 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

## 7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)( へ)	協働等の主な相手先について	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である		

## 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行)	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 伊賀南部環境衛生組合同規約第5条にもとづき設置しており、引き続き、円滑な議会運営をめざし、実施する。	

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	7802	(H.22)No.	
-----------	------	-----------	--

事務事業名	一般管理費(経常分)		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
伊賀南部衛生組合事務局	総務室	井面 清司	0595-53-1120
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	2 循環型社会の創造
	施策	3 廃棄物処理
	小施策	1 ごみの適正処理
重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	900601
伊賀南部環境衛生組合一般会計(中事業名)	予算書事業名	
款 総務費	一般管理費	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 一般管理費	一般管理費(経常分)	

## 3. 事務事業の概要

事業概要
衛生組合事務局の管理運営及びクリーンセンターリサイクルプラザを主とする施設管理に関する事務

めざす効果(事業目的)
事務局及び所管の廃棄物処理施設の円滑な管理運営を行う

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)							
	主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] 委託料 旧清掃工場解体撤去等支援 業務委託 1,897千円 旧清掃工場施設管理 1,622千円 プラザ棟等施設管理 3,917千円 温浴施設管理 2,394千円	[事業内容(事業量)・事業費] 委託料 旧清掃工場施設管理 1,500千円 プラザ棟等施設管理 4,990千円 温浴施設管理 2,790千円	<table border="1"> <tr> <td>市が直接実施</td> </tr> <tr> <td>業務委託(全部・一部)により実施</td> </tr> <tr> <td>指定管理</td> </tr> <tr> <td>補助金・交付金</td> </tr> <tr> <td>その他 ( )</td> </tr> </table>			市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金
市が直接実施										
業務委託(全部・一部)により実施										
指定管理										
補助金・交付金										
その他 ( )										
直接事業費	17,518千円	17,734千円	14,000千円	14,000千円	14,000千円					
財源内訳 (千円)	国庫支出金	1,897								
	県支出金									
	地方債									
	その他( )	914	110							
一般財源	(0) 14,707	17,624	14,000	14,000	14,000					
人工数	職員	1.80人	1.80人	1.80人	1.80人	1.80人				
	臨時職員等	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人				
概算人件費	(0千円) 13,140千円	13,140千円	13,140千円	13,140千円	13,140千円					
+ 総事業費	(0千円) 30,658千円	30,874千円	27,140千円	27,140千円	27,140千円					

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。  
 平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。  
 企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。  
 平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

## 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

## 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

## 7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していないが、今後可能性がある	協働等の主な相手先について 事業者
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託[事業量の50%未満相当]	協働等の今後の取組について 今後、取組み予定
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある	温浴施設管理委託の競争入札発注により委託料の削減と、有効かつ効率的な運営を図る。
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 検討の余地がある	温浴施設管理委託と施設清掃業務委託との併合による一体的な業務運営の入札化により、経費削減を図る。
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある	温浴施設の有料化
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある	旧清掃工場の跡地利用検討を進め、維持管理の「新しい公」を活用した民間委託化を図る

## 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(事務改善)	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 温浴施設管理委託と施設清掃業務委託との併合による一体的な業務運営の入札化により、経費削減を図る。	